

科目コーディネータ	遠藤 龍人 教授			問合せ先	医学部教務課 大学院担当			
科目コーディネータ所属	看護学部 看護専門基礎講座			連絡先	内線5512、5511、5510/ idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp			
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	前期 8 回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	遠藤 龍人 (看護学部看護専門基礎講座 教授) 岩淵 光子 (看護学部地域包括ケア講座 特任准教授) 佐藤 悦子 (看護部長) 工藤 賢三 (薬剤部長/薬学部臨床薬学講座 臨床薬学分野 教授)			村中 健太 (中央放射線部 技師長) 柳本 実 (中央臨床検査部 技師長) 藤原 恵真 (臨床心理室 臨床心理士) 高橋 一枝 (栄養部 副栄養士長)				
教育成果 (アウトカム)	教育成果 世界水準の先進医療の導入に必要な能力を涵養するために、医療者に限らず、専門職業職者に求められる研究開発能力あるいは診療技能の相互理解と、異なった専門職業職間での協調作業に係る学際的基盤知識を身につけることにより、多様化・高度化する医療に対応し実践・研究・指導が可能となる。						該当するディプロマポリシー 1, 2, 3, 4, 5	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 各種専門職業職者に求められる資質、能力を説明できる。				1,2,3,4,5,6,7,8			
(2) 研究開発事業あるいは先進高度化医療の実践に必要な、多職種間での協調共同行為実践に必要な基盤知識を説明できる。				1,2,3,4,5,6,7,8				
資格取得等	特になし。							
成績評価方法	受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。							
特記事項	<履修に関する情報> 各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用する。 受講後2週間以内に「受講票」を作成し、Web Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合は、医学部教務課大学院担当まで連絡すること。							
教科書・参考書								

●講義日程

月日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
5月28日 (土)	3	(1) 多職種連携チーム医療総論/多職種チーム医療に必要な専門職の資質 (医師) 多職種チーム医療の実践に必要な資質、方略を医師の立場から考え述べる事ができる。	遠藤 龍人 教授 (看護専門基礎講座)	Zoom
6月配信予定	2	(2) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質 (保健師) 多職種チーム医療の実践に必要な資質、方略を保健師の立場から考え述べる事ができる。	岩淵 光子 特任准教授 (地域包括ケア講座)	e-learning (動画視聴)
6月25日 (土)	2	(3) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質 (看護師) 多職種チーム医療の実践に必要な資質、方略を看護・介護の立場から考え述べる事ができる。	佐藤 悦子 看護部長 (看護部)	Zoom
7月2日 (土)	2	(4) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質 (放射線技師) 多職種チーム医療の実践に必要な資質、方略を放射線技師の立場から考え述べる事ができる。	村中 健太 技師長 (中央放射線部)	Zoom
7月23日 (土)	1	(5) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質 (薬剤師) 多職種チーム医療の実践に必要な資質、方略を薬剤師の立場から考え述べる事ができる。	工藤 賢三 薬剤部長 (薬学部臨床薬学分野)	Zoom
	2	(6) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質 (臨床検査技師) 多職種チーム医療の実践に必要な資質、方略を検査技師の立場から考え述べる事ができる。	柳本 実 技師長 (中央検査部)	Zoom
8月配信予定	1	(7) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質 (臨床心理士) 多職種チーム医療の実践に必要な資質、方略を臨床心理士の立場から考え述べる事ができる。	藤原 恵真 心理士 (臨床心理室)	e-learning (動画視聴)
8月6日 (土)	2	(8) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質 (管理栄養士) 多職種チーム医療の実践に必要な資質、方略を栄養士の立場から考え述べる事ができる。	高橋 一枝 副栄養士長 (栄養部)	Zoom